

東京都中央区日本橋浜町三丁目 21 番 1 号
株式会社建設技術研究所
代表取締役社長執行役員 西村 達也
(コード番号 9621 東証プライム)

第 61 回定時株主総会継続会 質疑応答概要

今回起こった不適切な原価管理事案についての再発防止策としては、管理強化だけでは不十分ではないか。会社の風土に問題があるのではないか。

このような事案が発生したことは、遺憾に思っている。

当社としては、より良い会社風土の醸成のほか、管理も必要と考えている。原価管理に関するチェック機能の強化、また、コンプライアンス研修をしっかりと行っていく必要があると考えている。

株価下落の要因はどう考えているか。その回復策をどうするか。

今回のような事案の発生により、株主様からの信頼が低下したことが一つの要因だと思っている。信頼回復に向け、このような不正事案が二度と発生しないようにするとともに、企業価値を向上するために、しっかりとした情報の開示、IR の強化に努めていきたい。

当社の賃上げの状況を教えてほしい。

今年の賃上げについては、これから労使との協議により決定する予定である。決定したら何かしらの形で公表する予定である。

※2024 年 8 月 13 日追記：

労使交渉の結果、2024 年は、従業員平均約 2.9%の賃上げを実施しました。

前年 2023 年に人事処遇制度を大幅に見直し、平均約 6.9%の賃上げを実施しました。

2022 年から 2024 年の 3 か年複利では大企業賃上げ率の平均 12.3%を 0.8 ポイント上回る 13.1%の賃上げを実施しております。

よりよい人材確保のために宣伝強化をする意向はあるか。

優秀な人材確保のためには、当社をよりよく知っていただくことは重要だと考えている。当社の魅力アップ策は引き続き検討をしていきたい。

元従業員の不正についての流出金額とその回収状況について教えてほしい。

流出金額は 1 億 4,100 万円であり、回収については、刑事的問題含め、警察に相談しながら対応中である。

人口減少によりどの業界も改革が必要になってくる一方で、企業にチャンスも生まれてくると思うので、がんばっていただきたい。

改革をしなければ成長はないと考えているので、改革は進めていきたい。

以 上